

INSPIRE No.29

第4回ギフトッド教育カンファレンス2017 パッションプレゼンテーション参加者説明会

日時：5月27日(土)

時間：13:00 - 15:00

場所：スクエア荏原 第3小会議室 in 品川

お問い合わせ：office@jagifted.org

第4回ギフトッド教育カンファレンス2017

日時：6月10日(土) 11日(日)

時間：9:30 受付スタート

場所：スクエア荏原 大会議室

お問い合わせ：office@jagifted.org



2017年も半分までできました。上半期、子供が思う一番の大きな成功はなんですか。そして、子供が思う一番の大きな失敗はなんですか。是非、聞いてみてください。物事は時に失敗から学ぶ方が学びが多いと言います。ギフトッドの子の中で、極端に失敗を怖がる子がいます。完璧主義の子です。完璧といっても、目の前にある物事にチャレンジしてみるかという、そうでもありません。自分ができるもの、そして、完璧にできるものを行います。だから、物事を0か100で考えます。やるかやらないかで物事を考えます。途中までやったり、または試みるという事はあまりしません。なぜでしょうか。多くの場合は自尊心に関係しているようです。例えば、「今まで勉強しなくてもできたのに、今は勉強しなくてはできなくなった。自分は頭が悪いのだろうか。」「あの人がどうせ一番だから、この教科は勉強しない。」など。失敗する自分を受け入れられない。または、失敗＝ダメという思考。失敗って何でしょうか。多くの人は失敗を恐れたり、避けたりするでしょう。そして「できなかった＝失敗」という方式で物事を考えている人がいます。しかし、本当に、失敗と物事を捉えるにはえるには3つの要素が必要です。実はなかなか失敗するのは難しいんです。失敗は。

失敗の3要素

1. 物事にコミットしている。

Half assing という英語の言い回しがあります。例えば椅子の半分だけに座っている状態。どっしり腰を据えて取り組んでいない。中途半端にデタラメにやっている。だから、できなくても、それは失敗ではないです。

2. 悔しさと希望がある。

頑張ってきているから、悔しい気持ちがあるが、次回やるのであれば、こうやってみたいという希望もある。悔しさが無いのであれば、そんなに大切なことでないのかもしれない。

3. 面白い話ができる。

失敗にはきっと想定外のことが起きているかもしれません。だから、失敗したら、面白いエピソードが増えていくかもしれませんね。

この3つの要素があれば、「本当に失敗した！」となるかもしれません。素敵ですね。

今年の夏、子供たちはどんな失敗のある可能性にチャレンジしますか。

ダイヤの原石

「スクールカースト」初めてこの言葉を目にしたのは、6年前の書店。なんとなくイヤ〜なタイトルの書籍を手を取った。そして、内容に思わず背筋が凍ってしまった。中心は中高生の子供たちと書いてあったが、昭和の頃小学生にも確かにあった。しかもその中心は、学級単位の子供たちではない。教師による学年ごとのスクールカーストが存在していた。そう、それは思い出すのもおぞましい鼓笛隊。

◎スクールカーストとは？

学校の学級内で子供たちが、勉強以外の能力や容姿などにより各人が格付けされ、階層が形成された状態。階層間の交流が分断され、上位の者が下位の者を軽んじる傾向があることから、いじめの背景の一つともみなされる。インドのカースト制になぞらえた造語。学級階層。

◎鼓笛隊とは？

昭和後期（40～50年代）に小学校の5・6年生全員で組織される音楽隊。主に運動会や文化祭、地域の夏祭り等に無料奉仕活動をする。授業ではなく課外活動の一環だが、強制参加システムで練習は放課後。4年生2学期に、担任により各楽器パートが割り振られる。児童内の人気や適性は一切無関係。また、立候補してもその希望が通るとは限らない。あくまでも担任の独断と偏見により決定される。これぞまさしく昭和の担任によるスクールカーストだ！なお、各パートは以下のとおり。

総指揮

スクールカースト小学生の頂点に君臨、まさにトップオブザトップ。ほとんどの場合、秀才で運動神経抜群おまけに背が高く、かつ教師受けの良いいわゆる健康優良児。選抜されるのは5・6年生の男子1人／270人中。5・6学年教師たちのイチオシ児童。衣装も彼1人だけ豪華絢爛特別仕様！この衣装は毎年使いまわすためワンサイズで、まるでシンデレラの靴のよう。

副指揮

スクールカースト頂上部に君臨。6年生で総指揮に抜擢される可能性大の子供たち5人。男子か女子か各クラスに1人／45人中だけが選抜される。各学級担任教師のイチオシ児童。特別衣装はあるが総指揮に劣るカジュアル仕様。

トランペット

スクールカースト上層部に君臨。ほとんどの場合、音楽的才能が重視されるため、女子はピアノが弾ける秀才。男子はピアノ経験者が少数なため、野球少年の秀才が大多数。選抜されるのは男2女2人／45人中。各学級担任教師のお気に入り児童。ほとんどの4年生にとっては、初めて手にする楽器なため、4年生選抜と同時に、毎週土曜日午後の特訓が始まる。衣装はブラウスにリボン、ベレー帽、ボトムスは体操着。

大太鼓

かなり重い楽器なため、体格の良い男子が選抜される。選抜されるのは、男子1人／45人中。スクールカーストの中層部～下層部に君臨。衣装は体操着

鉄琴

かなり重い楽器なため6年生のみの楽器。体格の良い子が選出される。選抜されるのは女子2人／45人中。スクールカーストの中層部～下層部に君臨。衣装は体操着。

小太鼓・ピアノカ

スクールカースト中層部に君臨。優等生ではないが、担任ウケの良い素直で努力家な子供たち。選抜されるのは、男女10人/45人中。衣装は体操着

笛

スクールカースト下層部に君臨。その他大勢で、担任にとってはどうでもいい普通または疎ましい問題児の集まり。本当は眠った才能の子供たちも存在していたと思う。選抜されるというよりも残り物20余名。衣装は体操着。

平成の今、私は想像する。平成ギフトッドのわが子ならば、どのパートになっているだろうか？小4ならば立派な学校嫌いになっているに違いないし、反抗的な態度で担任にとっては疎ましい存在の児童なはず。わが子ならば、鼓笛隊のシステムに疑問を持ち、腐って演奏する振りするか、完全にさぼっているだろうなあ。むしろ親の気持ちとは裏腹に、目立つパートに選ばれずホッとしているのかもしれない・・・。

その他大勢の中で、とびきり輝いているダイヤの原石のような笛、
それがきっときっとなが子にちがいない。



6月10日、11日に第4回ギフトッド教育カンファレンス2017が開催されます。2日目にはパッションプレゼンテーションがありますが、先日、パッションプレゼンテーションに参加希望の子供たち向けに説明会を開きました。アメリカの文房具店なら、10ドルくらいで売られている Trifold (3つ折りボード) も、日本のアマゾンで同じものが、10,000円くらいで売られています。20個も揃える予算はありませんので、アメリカから持って帰ってこようかと思っていたのですが、日本で探すことにしました。それは、結局アメリカでしか手に入らないのであれば、カンファレンス後に、参加者の子供たちが「やりたい!」と思っても、日本では手に入らないので、同じ寸法で、某ダンボール店でカスタム作成して頂きました。ポスタープレゼンテーションは基本的にはポスターのみですが、パッションプレゼンテーションは違います。もっと、自分の情熱を共有するために色々な要素を加えることができます。参加者の方もきっとそこで体験ができることだと思います。

情熱に向き合うのに年齢は関係ありません。色々なことを考えなくてはなりません。タイトルもそうですが、フック (注意を引く言葉) もそうです。どんな言葉をかけたら、参加者の人が足を止めてくれるか。止めてくれないと、情熱は共有できませんから。どんな物を使用して、参加者の方々に自分が興味を持って取り組んでいることを伝えることができるか。

建設的なフィードバックもパッションプレゼンテーションの醍醐味です。アドバイスを建設的にとり、自分の情熱に取り入れる人もいれば、批判的に取り、まったく取り入れない人もいます。今回は、「Two Starts and One wish - 二つの星と一つの願い」という方式で、参加者の方々がプレゼンターの皆さまに建設的なフィードバックを提供することができます。プレゼンターがそれぞれ準備する用紙に、プレゼンターの2つの魅力的な点、そして、こうしたら良いのかもという願いを1つ書くことができます。パッションプレゼンテーションは色々な意味で、ギフトッドの登竜門でしょう。ただ好きなことを発表するだけではありません。参加者募集中です。ぜひ、チャレンジしてください! お申し込みはoffice@jagifted.orgまで。

